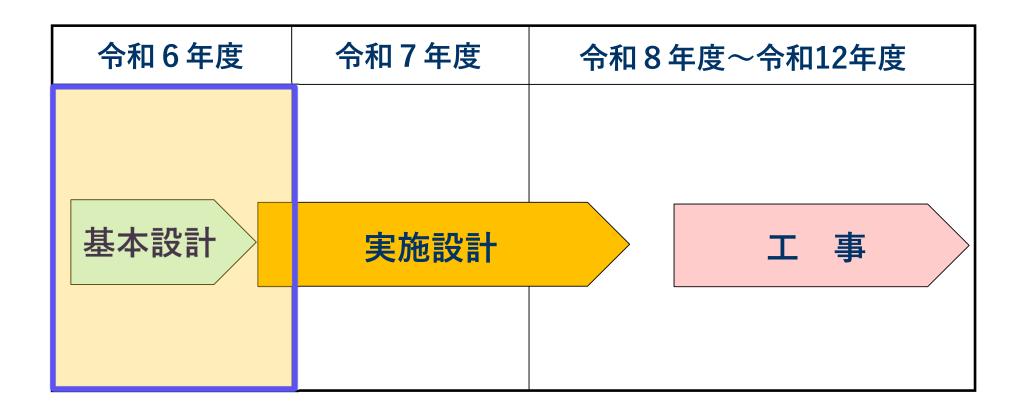
# 手稲中央小学校 新校舎の配置計画案について

札幌市教育委員会

- 1 事業スケジュール
- 2 改築における施設整備の目標
- 3 配置計画案について

- 1 事業スケジュール
- 2 改築における施設整備の目標
- 3 配置計画案について

### 事業スケジュール



- 1 事業スケジュール
- 2 改築における施設整備の目標
- 3 配置計画案について

- 多様で柔軟な学習空間多様な学習活動を展開できる教室空間
- 2 健やかな学習・生活環境

快適で、温かみのある空間 防犯や施設の安全性への配慮

3 地域との円滑な連携

学校と地域の交流 地域の防災拠点としての整備

4 環境への配慮

- 多様で柔軟な学習空間多様な学習活動を展開できる教室空間
- 2 健やかな学習・生活環境 快適で、温かみのある空間 防犯や施設の安全性への配慮
- 3 地域との円滑な連携

学校と地域の交流 地域の防災拠点としての整備

4 環境への配慮



(写真:教育委員会で撮影及び各学校HPより)



(写真:教育委員会で撮影及び各学校HPより)

1 多様で柔軟な学習空間

多様な学習活動を展開できる教室空間

2 健やかな学習・生活環境

快適で、温かみのある空間 防犯や施設の安全性への配慮

3 地域との円滑な連携

学校と地域の交流 地域の防災拠点としての整備

4 環境への配慮

- 1 多様で柔軟な学習空間 多様な学習活動を展開できる教室空間
- 2 健やかな学習・生活環境 快適で、温かみのある空間 防犯や施設の安全性への配慮
- 3 地域との円滑な連携

学校と地域の交流 地域の防災拠点としての整備

4 環境への配慮

# 3 地域との円滑な連携

### 災害時の避難所

- 1 受水槽の非常用水栓
- 2 ガス変換機接続口
- 3 災害用備蓄庫







(写真:教育委員会で撮影及び各学校HPより)

- 1 多様で柔軟な学習空間 多様な学習活動を展開できる教室空間
- 2 健やかな学習・生活環境

快適で、温かみのある空間 防犯や施設の安全性への配慮

3 地域との円滑な連携

学校と地域の交流 地域の防災拠点としての整備

4 環境への配慮

- 1 事業スケジュール
- 2 改築における施設整備の目標
- 3 配置計画案について

#### ■計画地

住 所:札幌市手稲区手稲本町3条2丁目6-1

敷地面積: 21, 790㎡

用途地域:第一種住居地域、近隣商業地域

#### ■計画地の周辺環境

敷地東側は国道5号線に、西側は宅地及び手稲区保育・子育て支援センター (ちあふる・ていね)に面しています。また、北側には小川が流れています。 校舎とグラウンドは5mの高低差があり、擁壁が設置されています。 また、北側市道や、国道5号線と学校敷地も高低差があります。

#### ■現況敷地及7F建物

- ・現在の校舎は、昭和49年に鉄筋コンクリート造3階建てで建設しています。
- ・屋内運動場は昭和55年に建設しています。
- 校舎の主出入口は北東側となっています。



#### ■施設計画概要

	既 存	改築
校舎	5, 780mi	7, 265mi
屋内運動場	1, 260mi	1, 368mi
給食室	: <del></del>	3 5 0 m²
児童会館	=	4 3 9 m
プール棟	5 0 0 m	e-

#### ■施設諸室

#### ①校 舎

普通教室:19教室+ワークスペース

特別支援学習室: 4教室 + ワークスペース + プレイルーム

特別教室:6教室

理科室、家庭科室、図工室、音楽室、図書室、教育相談室

余裕教室:3教室

特別活動室、牛活科室、会議室

多目的室: 3 教室

一般、ICT対応、少人数対応

管理諸室

職員室、校長室、印刷室、保健室、用務員室、職員更衣室 厨芥庫、塵芥庫、リサイクル庫、除雪機置場、教材室、物品庫等

その他

昇降口、PTA室、ポンプ室、機械室、郷土史料室、給食室、配膳車置場 エレベーター、トイレ(男子用、女子用、多目的、共用、職員用)

※特別活動室、生活科室、会議室は普通教室転用可能な仕様とする。

#### 2屋内運動場

・アリーナ、器具庫、更衣室(男女別)、体育準備室、開放用玄関、指導員控室 トイレ、ボイラー室、備蓄庫

#### ③児童会館

・風除室、玄関、事務所、遊戯室 (プレイルーム)、集会室、クラブ室 トイレ (男子用、女子用、多目的)

#### 4屋外環境施設

・グラウンド用屋外物置、教材園

#### ■計画地

住 所:札幌市手稲区手稲本町3条2丁目6-1

敷地面積:21,790㎡

用途地域:第一種住居地域、近隣商業地域

#### ■計画地の周辺環境

敷地東側は国道5号線に、西側は宅地及び手稲区保育・子育て支援センター (ちあふる・ていね)に面しています。また、北側には小川が流れています。 校舎とグラウンドは5mの高低差があり、擁壁が設置されています。 また、北側市道や、国道5号線と学校敷地も高低差があります。

#### ■現況敷地及び建物

- ・現在の校舎は、昭和49年に鉄筋コンクリート造3階建てで建設しています。
- ・屋内運動場は昭和55年に建設しています。
- 校舎の主出入口は北東側となっています。



#### **施設計画概要**

	既 存	改築
校舎	5, 780mi	7, 265mi
屋内運動場	1, 260mi	1, 368mi
給食室	: <del></del>	3 5 0 m²
児童会館	=	4 3 9 m
プール棟	5 0 0 m	e-

#### ■施設諸室

#### ①校 含

普通教室:19教室+ワークスペース

特別支援学習室: 4教室 + ワークスペース + プレイルーム

特別教室:6教室

理科室、家庭科室、図工室、音楽室、図書室、教育相談室

余裕教室:3教室

特別活動室、牛活科室、会議室

· 多目的室: 3 教室

一般、ICT対応、少人数対応

• 管理諸室

職員室、校長室、印刷室、保健室、用務員室、職員更衣室 厨芥庫、塵芥庫、リサイクル庫、除雪機置場、教材室、物品庫等

その他

昇降口、PTA室、ポンプ室、機械室、郷土史料室、給食室、配膳車置場 エレベーター、トイレ(男子用、女子用、多目的、共用、職員用)

※特別活動室、生活科室、会議室は普通教室転用可能な仕様とする。

#### 2屋内運動場

・アリーナ、器具庫、更衣室(男女別)、体育準備室、開放用玄関、指導員控室 トイレ、ボイラー室、備蓄庫

#### ③児童会館

・風除室、玄関、事務所、遊戯室 (プレイルーム)、集会室、クラブ室 トイレ (男子用、女子用、多目的)

#### 4屋外環境施設

・グラウンド用屋外物置、教材園

#### 配置計画検討案の前提条件

「札幌市小・中学校施設整備基本設計指針」、「札幌市立手稲中央小学校改築等基本計画」 及び敷地の周辺環境や現状建物の配置から、施設配置計画を進めるための前提条件を 整理します。



#### 1) 安心・安全で機能的な学校

- 給食運搬車、管理車両の動線と児童の動線を分離します。
- ・屋内運動場は緊急避難施設としての機能性に配慮します。

#### 2) 周辺環境との調和

- ・周辺環境への日影が最小限となるよう配慮した校舎とします。
- ・普通教室及び特別支援学習室は日照に配慮し、採光条件の良い南面・東面に 優先して配置します。

#### 3)屋外施設(グラウンド)

・グラウンドは現状程度の面積を確保します。

#### 4)経済性

・仮設校舎の有無、工事規模、階数など経済性に配慮した配置とします。

#### 5) T期·施丁計画

- ・児童の学習、活動への影響が最小限となるように配慮した工期、施工計画とします。
- ・工事中の児童への安全性を確保した工期、施工計画とします。

#### ■現在の場所に新しい校舎を建替える場合

現位置計画図



#### 〈問題点・課題等〉

- ・小学校生活の半分の3年程度を仮設校舎で過ごすことになる
- 工期が長くなる
- ・引っ越しが2回となる
- ・グラウンドの使用ができない期間が長くなる
- ・校舎とグラウンドは高低差があるため、仮設校舎と屋運の接続が難しい
- ・仮設校舎の建設で多額の費用が必要となる

現在と同じ場所に新しい校舎を建設する場合 問題点・課題が多く見受けられます。



現在と同じ場所に建替えるのではなく 敷地内の別の場所に建設する配置検討を行います。

#### ■配置計画検討案の前提条件

「札幌市小・中学校施設整備基本設計指針」、「札幌市立手稲中央小学校改築等基本計画」 及び敷地の周辺環境や現状建物の配置から、施設配置計画を進めるための前提条件を 整理します。



#### 1) 安心・安全で機能的な学校

- 給食運搬車、管理車両の動線と児童の動線を分離します。
- ・屋内運動場は緊急避難施設としての機能性に配慮します。

#### 2) 周辺環境との調和

- ・周辺環境への日影が最小限となるよう配慮した校舎とします。
- ・普通教室及び特別支援学習室は日照に配慮し、採光条件の良い南面・東面に 優先して配置します。

#### 3)屋外施設(グラウンド)

・グラウンドは現状程度の面積を確保します。

#### 4)経済性

・仮設校舎の有無、工事規模、階数など経済性に配慮した配置とします。

#### 5) 工期・施工計画

- ・児童の学習、活動への影響が最小限となるように配慮した工期、施工計画とします。
- ・工事中の児童への安全性を確保した工期、施工計画とします。

#### ■現在の場所に新しい校舎を建替える場合

現位置計画図



#### 〈問題点・課題等〉

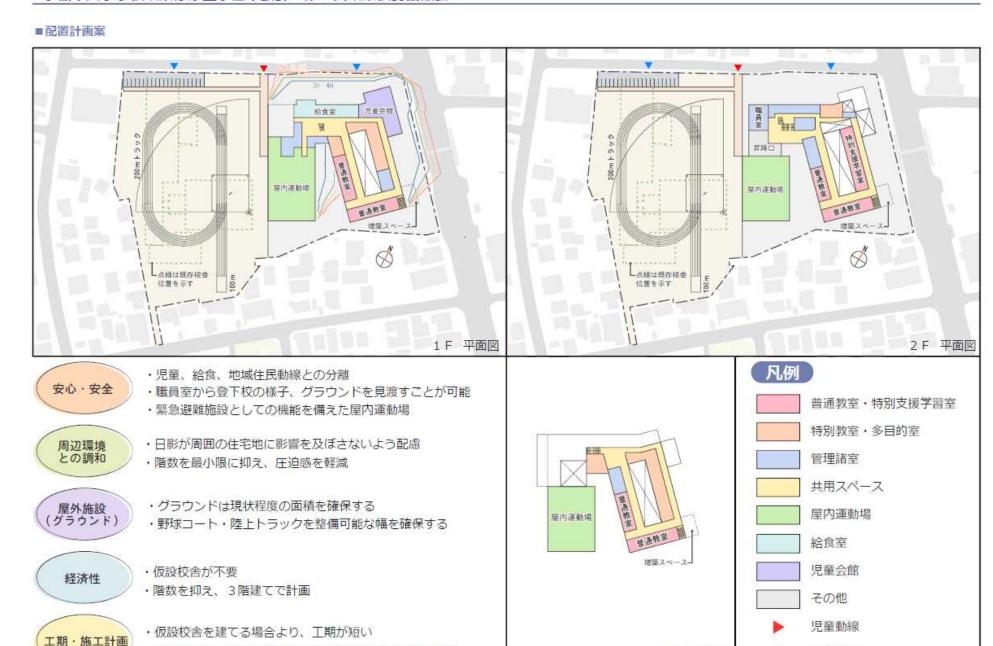
- ・小学校生活の半分の3年程度を仮設校舎で過ごすことになる
- 工期が長くなる
- ・引っ越しが2回となる
- ・グラウンドの使用ができない期間が長くなる
- ・校舎とグラウンドは高低差があるため、仮設校舎と屋運の接続が難しい
- ・仮設校舎の建設で多額の費用が必要となる

現在と同じ場所に新しい校舎を建設する場合 問題点・課題が多く見受けられます。



現在と同じ場所に建替えるのではなく
敷地内の別の場所に建設する配置検討を行います。

・児童の学習、活動への影響を最小限に配慮した施工計画

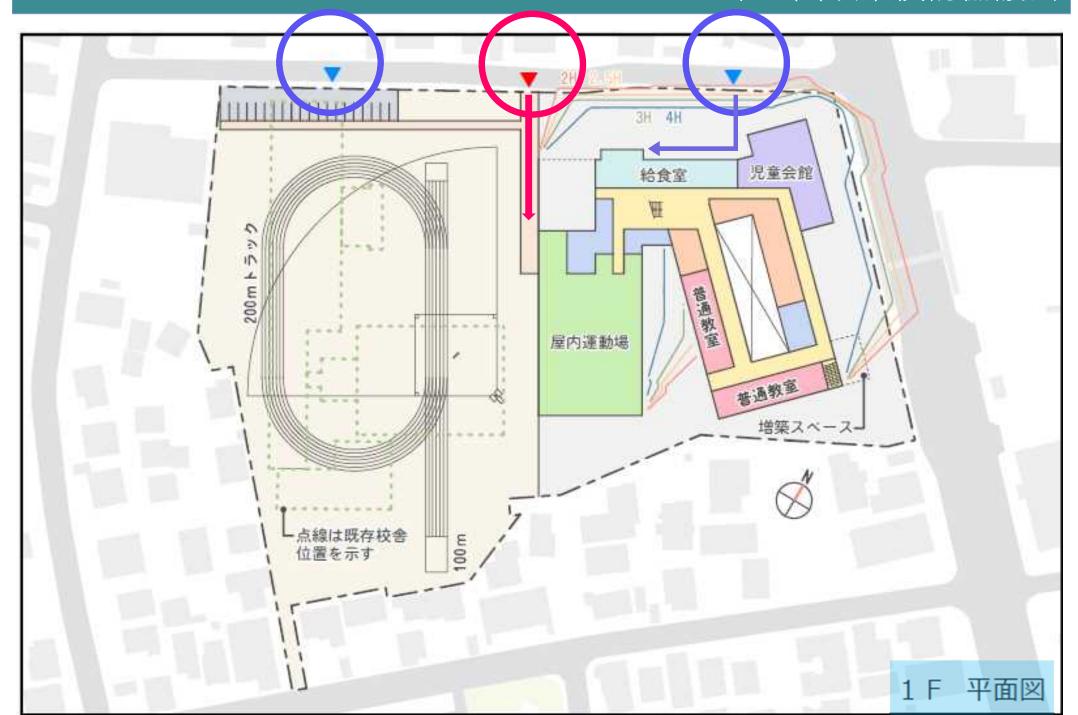


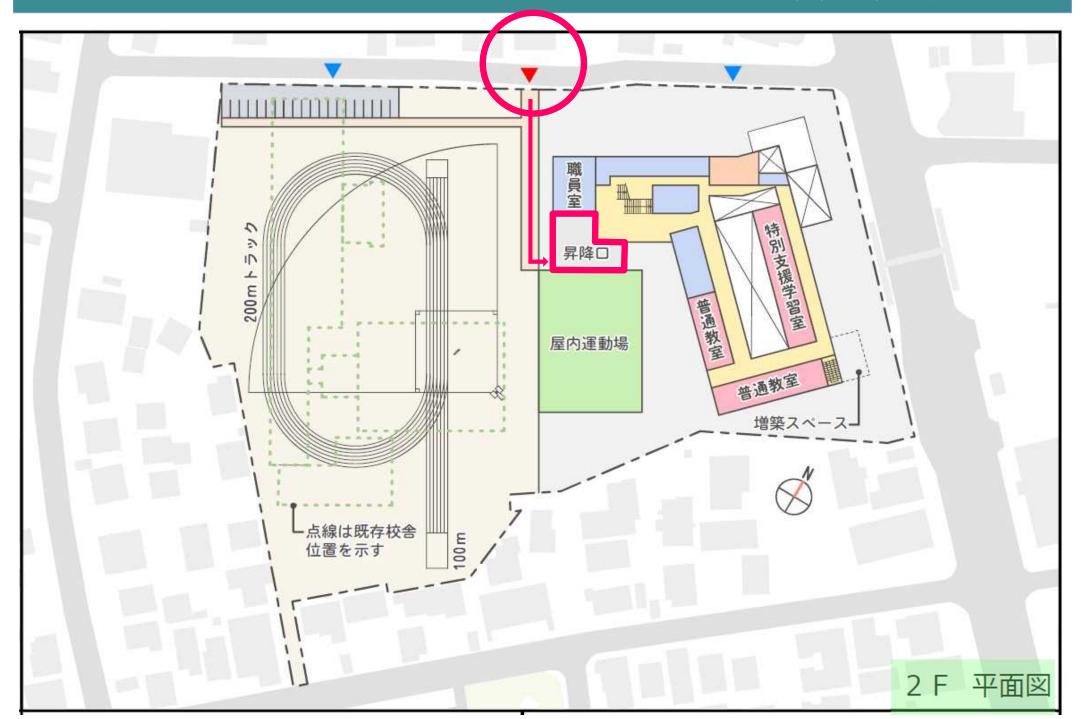
車面動線

3 F 平面図

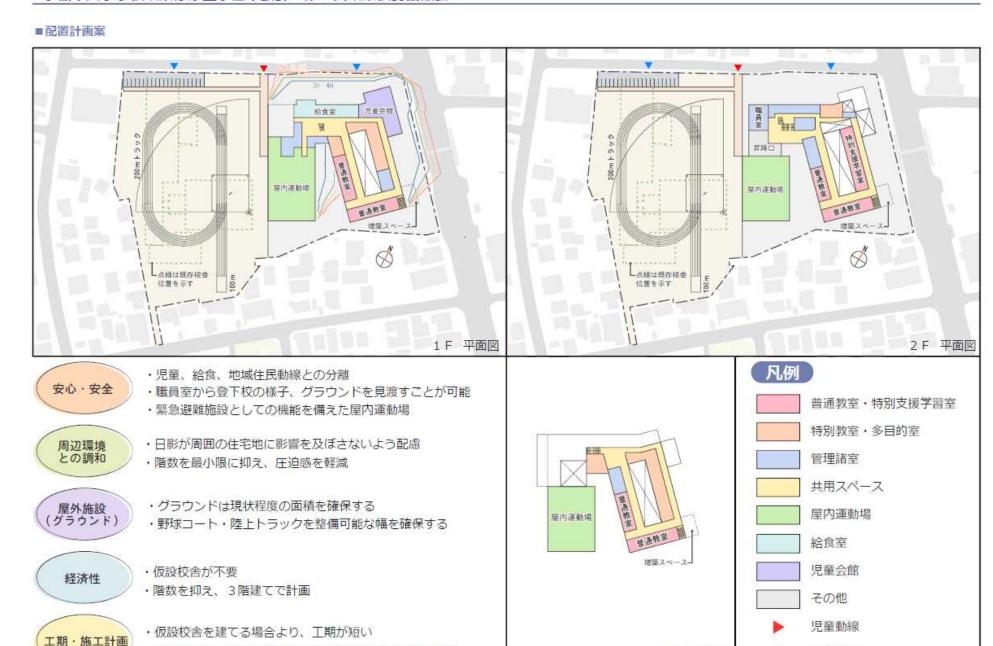
### 4. 配置案の検討について

第1回改築検討協議会





・児童の学習、活動への影響を最小限に配慮した施工計画



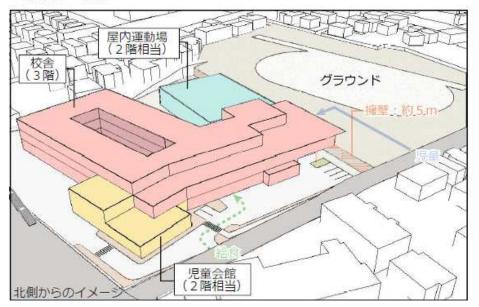
車面動線

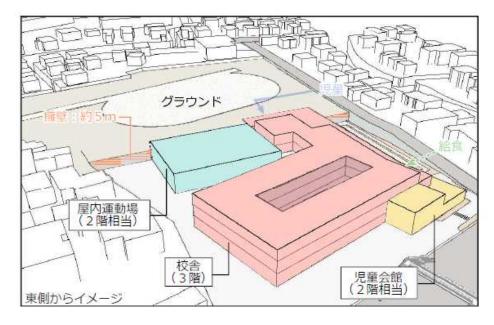
3 F 平面図

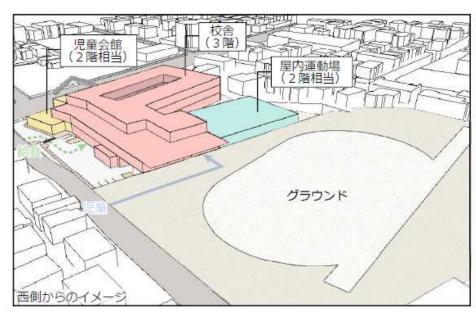
### 第1回改築検討協議会

#### 手稲中央小学校改築ほか工事基本設計 第1回改築検討協議会

#### ■完成イメージ図









※イメージ図のため、実際と異なる場合があります。

# 資料



(写真:教育委員会で撮影及び各学校HPより)

## 2 健やかな学習・生活環境

### バリアフリー対策



エレベーター



多目的トイレ